

ビジネス・防災対策委員会 基本方針（案）

ビジネス・防災対策室 ビジネス・防災対策委員会
委員長 飯 笹 壽久

1 昨今の新型コロナウイルス感染症により、経済・日常生活ともに様変わりしています。県
2 内の経済状況も少しづつ状況は持ち直しつつありますが、まだまだ先行きは不透明であり、
3 新型コロナウイルスに対応したビジネス、人材不足等が県内企業課題は山積です。また、佐
4 賀県内においては、2021年8月の大雪は2019年8月に匹敵する甚大な被害をもたらしました。
5 毎年自然災害の影響が出ており、ビジネスを継続していくためには、防災・減
6 災への取り組みが必要です。

7 まずは、災害時に迅速な対応をするために、2021年11月に佐賀の青年4団体による
8 青年団体協定を結び、他団体との連携を推進することで、早期の復旧、物資確保・供給につ
9 なげていきます。つぎに、安心・安全なまちづくりをする為に、行政・地域と連携し環境を
10 整備することで、災害に強いまちづくりにつなげていきます。そして、若い世代の防災・減
11 災意識の向上のため、子育て世代に向けた親子参加型の防災事業を展開することで、防災意
12 識の向上で災害が子供に与える影響の軽減につなげます。さらに、災害時に必要となるボラ
13 ンティア不足を解消するために、大学・短期大学・専門学校との連携を進め、ボランティア
14 数の確保、学生への学びにつなげていきます。また、ビジネス分野においてはメンバーの社
15 業発展のために、メンバー自身の課題解決に向けたセミナー等を開催することで、メンバー
16 の学びや社業の発展につなげ、佐賀経済の活性化に貢献し、メンバー一人ひとりが地域を担
17 う青年経済人としての質の向上を目指します。

18 W I T H コロナの時代を生き抜き、より良い地域社会創りに貢献していくには、地域の
19 方々と手を取り合い、佐賀青年会議所でだからこそできる事に挑戦し、「修練」「奉仕」「友
20 情」の三信条のもと、「銀鱗躍動」のように地域で勢いよく輝き続ける団体を目指します。

21

22

23 [事業計画]

- 24 1. 防災事業の企画・運営（6月）
- 25 2. 新年会の企画・運営（1月）
- 26 3. サマーコンファレンスのアテンド（7月）
- 27 4. 例会の企画・運営（5月・9月）
- 28 5. 薩長土肥の企画・運営（11月）
- 29 6. 会員拡大 拡大目標 委員会8名（全体40名）

30